

JASPM 北陸地区2005年度研究例会
石川県女性会館
口頭発表資料:初期ディズニー映画の音楽の研究

谷口昭弘
amekura101@yahoo.co.jp

【資料1】初期ディズニーの音楽担当者

ウィフレッド・ジャクソン (アニメーター、1906-1988, ディズニー所属=1928-62)
カール・ストーリング (1891- 1971, ディズニー所属=1928-30)
バート・ルイス (ディズニー所属=1930-35)
フランク・チャーチル (1901-42, ディズニー所属=1931-1942)
リー・ハーリー (1907-69, ディズニー所属=1933-41)

【資料2】『ミッキーマウス』シリーズの白黒映画に使われた音楽。()は音楽が使用された短編のタイトル

(1) 南北戦争の歌、愛国歌

《ディクシー》(プレーン・クレージー、裏庭の戦い、ミッキーの鴨猟、ミッキーの脱線芝居)
《ヤンキー・ドゥードル》(プレーン・クレージー、ジャングルのリズム、ミッキーの鴨猟)
《Battle Cry for Freedom》(裏庭の戦い)
《The Girl I Left Behind Me》(ミッキーの幌馬車時代、ミッキー一座、ミッキーのウーピーパーティ)
《Hail to the Chief》(プレーン・クレージー)

(2) 民謡、子どもの歌など

《アニー・ローリー》(プレーン・クレージー)
《ヴェニスの上肉祭》(カーニバル・キッド)
《オー・ソレ・ミオ》(ミッキーのフォリーズ)
《かわいいアウガスティン》(猫のいぬ間のタップダンス)
《蒸気船ビル》(蒸気船ウィリー)
《線路はつづくよ、どこまでも》(ミッキーの汽車旅行)
《茶色のこびん》(猫のいぬ間のタップダンス)
《峠のわが家》(猫のいぬ間のタップダンス-未確認 [Care, 1979に言及])
《麦畑》(ミッキーの畑仕事、ミッキーの陽気な農夫)
《メリーさんの羊》(ミッキーの浮かれ音楽団)
《ルーベン、ルーベン》(ギャロップ・ガウチョ)
《ロンドン橋》(ミッキーの浮かれ音楽団)
《藁の中の七面鳥》(蒸気船ウィリー、ジャングルのリズム)
《The Camp Are Coming》(ミッキーの陽気な農夫)
《Farmer in the Dell》(猫のいぬ間のタップダンス、ミッキーのダンスパーティー、ミッキーの鴨猟)
《Here We Go 'Round the Mulberry Bush》(ミッキーのオペラ見物)
《Kingdom Coming (Year of Jubilo)》(猫のいぬ間のタップダンス)
《Listen to the Mocking Bird》(猫のいぬ間のタップダンス)
《Pop! Goes the Weasel》(ミッキーのダンスパーティー)
《Sweet Rosie O'Grady》(ミッキーのウーピーパーティ)
《There's No Place Like Home》(猫のいぬ間のタップダンス)

(3)クラシック

ヴェルディ:《トロヴァトーレ》より<The Anvil Chorus>(裏庭の戦い)
エーロール:《ザンバ》序曲(ミッキーの鴨猟)
ケテルビー:《ペルシャの市場にて》(ミッキーのアラビア探検)
シャブリエ:狂詩曲《スペイン》(カクタス・キッド)
シュトラウス、ヨハン:《美しく青きドナウ》(ジャングルのリズム)
シューベルト:《魔王》(ミッキーのお化け屋敷)
スッペ:《軽騎兵》序曲(ミッキーの脱線芝居)
スッペ:《詩人と農夫》序曲(名指揮者ミッキー、ミッキーの脱線芝居)
ドヴォルザーク:《ユモレスク》(ミッキーの汽車旅行)
ピエルネ:《鉛の兵隊》(ミッキーのオペラ見物)
ビゼー:《カルメン》抜粋(ミッキーのオペラ見物)
フォスター:《おお、スザンナ》(ミッキーの幌馬車時代 [替え歌])
フォスター:《ケンタッキーのわが家》(ミッキーの浮かれ音楽団)
フォスター:《故郷の人々(スワニー河)》(ミッキーのダンスパーティー)
メンデルスゾーン:《結婚行進曲》(ミッキーの騎士道)
メンデルスゾーン:《春の歌》(ミッキーの陽気な囚人、ミッキーの無人島漂流、バーン・ダンス、ミッキー一座)
リスト:《ハンガリー狂詩曲第2番》(ミッキーのオペラ見物、ミッキーの空の英雄)
ラフマニノフ:前奏曲嬰ハ短調作品3の2(ミッキーのオペラ見物)
ローザス、フベンティエーノ:波濤を越えて(ミッキーの無人島漂流)
ロッシニー:《ウィリアム・テル》序曲(ミッキーの脱線芝居 [<嵐>の部分のみ])

(4)ポピュラー

《セント・レイス・ブルース》(ミッキーとミニーの音楽隊)
ジョプリン:《メープルリーフ・ラグ》(ミッキーのウーピーパーティ)
《All Alone by the Telephone》(ミッキーのゴリラ騒動、詳細調査中)
《In the Good Old Summertime》(ミッキーのピクニック)
《My Bonnie Lies Over the Ocean》(ミッキーの海山越えて、詳細調査中)
《Neath the Pale Moonlight》(カーニバル・キッド、詳細調査中)

(5)エキゾチズム

《The Streets of Cairo》(ミッキーのオペラ見物、カーニバル・キッド (替え歌)、ミッキーの陽気な囚人、ミッキーの幌馬車時代、ミッキーとミニーの音楽隊)
ケテルビー:《ペルシャの市場にて》(ミッキーのアラビア探検)

【資料3】ディズニー音楽に関するカール・ストーリングの発言

マイケル・バリアー「あなたの音楽はディズニーとアイワークス [谷口注:アニメーター] のスタジオのものとワーナー・スタジオのものでかなり違っていましたか？」ストーリング「はい。なぜならワーナーにおいては、ポピュラー音楽を使うことができたからです。ディズニーでは19世紀へ、クラシック音楽へ、《ケンタッキーのわが家》へ戻らねばなりませんでしたから。(Goldmark and Taylor, 49).

【資料4】映像資料「ミッキーのオペラ見物」

1929年3月封切りの映画。原題はThe Opry House。カール・ストーリングによる音楽。ディズニー初の「コンサート形式」の cartoons。最初の場面では「Big vaudeville show」という看板が見える。入り口には「Yankee Doodle Girls」のポスターもある。そのためか《ヤンキー・ドゥードル》も流れる(ピエルネ/《鉛の兵隊の行進》も顔

を覗かせる)。ホール内では序曲としてビゼーの歌劇《カルメン》からの抜粋が演奏されてから、ミッキーのショーになる。まずは《The Street of Cairo》に合わせたミッキーのエキゾチック・ダンス。それに続いてピアノ演奏になる。演奏曲目はラフマニノフ／前奏曲嬰ハ短調、民謡《Here We Go 'Round the Mulberry Bush》、リスト／ハンガリー狂詩曲第2番である。

【資料5】映像資料「ミッキーのウーピーパーティー」

1932年9月。フランク・チャーチルによる音楽。題名の「ウーピー (whoopee)」は「わーい」「浮かれ騒ぎ」といったような意味。場面では南北戦争を思わせる、ファイフ・アンサンブルによるノスタルジックな民謡《The Girl I Left Behind Me》も続き、ミニーが《メープルリーフ・ラグ》を演奏。パーティーになる。動物だけでなく、ランプ、傘立て、椅子、ソファ、ワイシャツ、ダンスなども踊る。消えたマッチが黒くなって「Mammy」と叫ぶが、これは当時流行した映画『ジャズ・シンガー』に出演したアル・ジョンソンのカリカチュアと思われる。

【資料6】映像資料「ミッキーのゴリラ騒動」

1930年10月。作曲者不明。ミッキーは新聞記事により、動物園のゴリラが脱走したことを知る。ミニーの身の上を心配してミッキーは慌てて電話するが、ミニーは「大丈夫よ」と歌を歌い出す。ミッキーもつられて安心するが、ミニーはゴリラに襲われ…。

【資料7】映像資料「ミッキーの愛犬ブルート」

1933年2月。チャーチルによる音楽。ブルートがある日、捨てられた子猫を発見し、ミッキーとミニーが引きとる。しかし連れてきた子犬たちはいたずら好き。ブルートはそれにも関わらず仲良くしようとするが、一方でミッキーが子犬たちをかわいがりすぎて、ブルートに冷たくなってしまふ。自分にかまって欲しいブルートだが、やがて子猫たちのいたずらの罪までかぶることになり、家を追い出されてしまふ。子猫たちは相変わらずいたずら好きで、家をこっそり抜け出すが、誤って井戸に落ちてしまふ。ブルートはためらうが、心の悪魔は天使に打ち負かされ、遂に子猫救出に翻弄する。

【資料8】映像資料「ミッキーの騎士道」

1933年4月。チャーチルによる音楽。ミッキーは旅の吟遊詩人。ミニーはララパズー王国のお姫様で、父の命により、ププパドゥーの王子ディッピー・ドウグ(現在ではゲーフィーとして知られるキャラクター)と結婚することになっていた。しかし挙式のまっただ中でミニーは王子との結婚を断ったため、父の怒りを買ひ、高い塔に閉じ込められてしまふ。事情を知ったミッキーは木をよじ登り、セレナーデを捧げ、姫を救いだそうとする。しかし塔から逃げ出す途中でララパズー王に見つかり、あやうく処刑の目に遭う。ミニーは父親である王に嘆願し、ディッピー・ドウグとの決闘で勝った方を自分の夫にすることを父親と約束する。ミッキーはドウグと戦い…。

【資料9】『ミッキーの騎士道』の概要

・行進曲風のタイトルシーン

・コーラスによる開始。

——歌詞

In days of old, when knights were bold
And nightshirts held their sway
A jolly minstrel strummed his lute
And sang this merry lay

——画面

Ye Castle
Ye Wondering Minstrel-MICKY MOUSE
Ye Princess-MINNY MOUSE
Ye Prince-DIPPY DAWG
Ye Olde Kinge-

・ミッキーがロバに乗って登場

I am a wandering minstrel
I journey from afar
My worldly goods are sleepy old mule
A song and a busted guiter, ha ha!

・城内、家来たちによるコーラス

Hurray! Hurray! Hurray!
A toast we'll sing unto our king
To his good health we'll sing
A toast we'll sing unto our king
Long live the king

・王様の独唱

O hear ye, loyal subjects
Of my kingdom of Lalapazoo

・コーラス

Of our kingdom of Lalapazoo

・王様

Upon this day my daughter weds
The prince of Pupupadoo

・コーラス

The prince of Pupupadoo

・トランペットのファンファーレ

門番 “Behold the prince!” (女声)

ディッピー・ドウグ登場

・別の門番 “Behold the princess!”

ミニー登場

・メンデルスゾーン《結婚行進曲》の引用

・王様

At my command
You'll give thy hand
In wedlock to you prince

・ディッピー・ドウグ (セリフ)

"I know you'll learn to love me"

・ミニー

"Never! Never! Never!" (リズムカルに)

・王様 (レチタティーヴォ)

"She acts like a fanatic"

"Lock her in the attic!"

・ドラマチックな音楽 (アンダースコアリング)

・高い塔の中 (ピアノ独奏が突然)

・泣くミニーとクララベル・カウ 3拍子

・ミッキーが塔に向けてセレナード

Cheer up, oh, lovely princess

For you'll be rescued soon

I'll take thee away

So you won't have to stay

And marry that silly baboon

・ミッキーが木から塔へと飛んで行く (引力の法則ではありえない!)

・ミッキーとミニーのダイアローグ

・城内

ファンファーレに続き行進曲: 食物が献上される。

・ミッキーとミニーの脱走: ミッキーマウシングの使用
鈴の音とダンシング・リズム

・王に見つかる。音楽がドラマチックに

・ミッキーが突つかれ、王の前に出る。

・王のレチタティーヴォ

"Rat! Scoundrel!"

"Off with his cowardly head"

・ミッキーの危機

・ミニーの嘆願

"I love him, Father! Spare his head!"

"Excute the prince instead!"

・王の応答 (リズムカル)

"Clear the hall! We'll have a duel!"

"The prince shall battle this young fool."

・全員 (合唱): チャールストーン風

Hey! Hooray!

We're gonna have a duel. We're gonna....

We..... We.....

Whichever one survives the slaughter

Winds the hand of my fair daughter.

・決闘の場面 (コミカル)

——馬とロバの擬人化もあり

・コーラス (リフレイン)

In days of old when knights were bold

And romance had its fling

Hooray the royal bride and groom

Long live the king.